

霞ヶ浦湖畔の野鳥の生態 ～冬鳥、夏鳥、コウノトリ～

美浦村立美浦中学校 科学部
代表 椎名大悟

- ①採水のとくと定期的に、野鳥の観察
- ②写真を撮って、種の同定と生態調べ

2 研究の動機



冬になるとたくさんの冬鳥、マガモやホシハジロで霞ヶ浦の湖面を埋め尽くす。

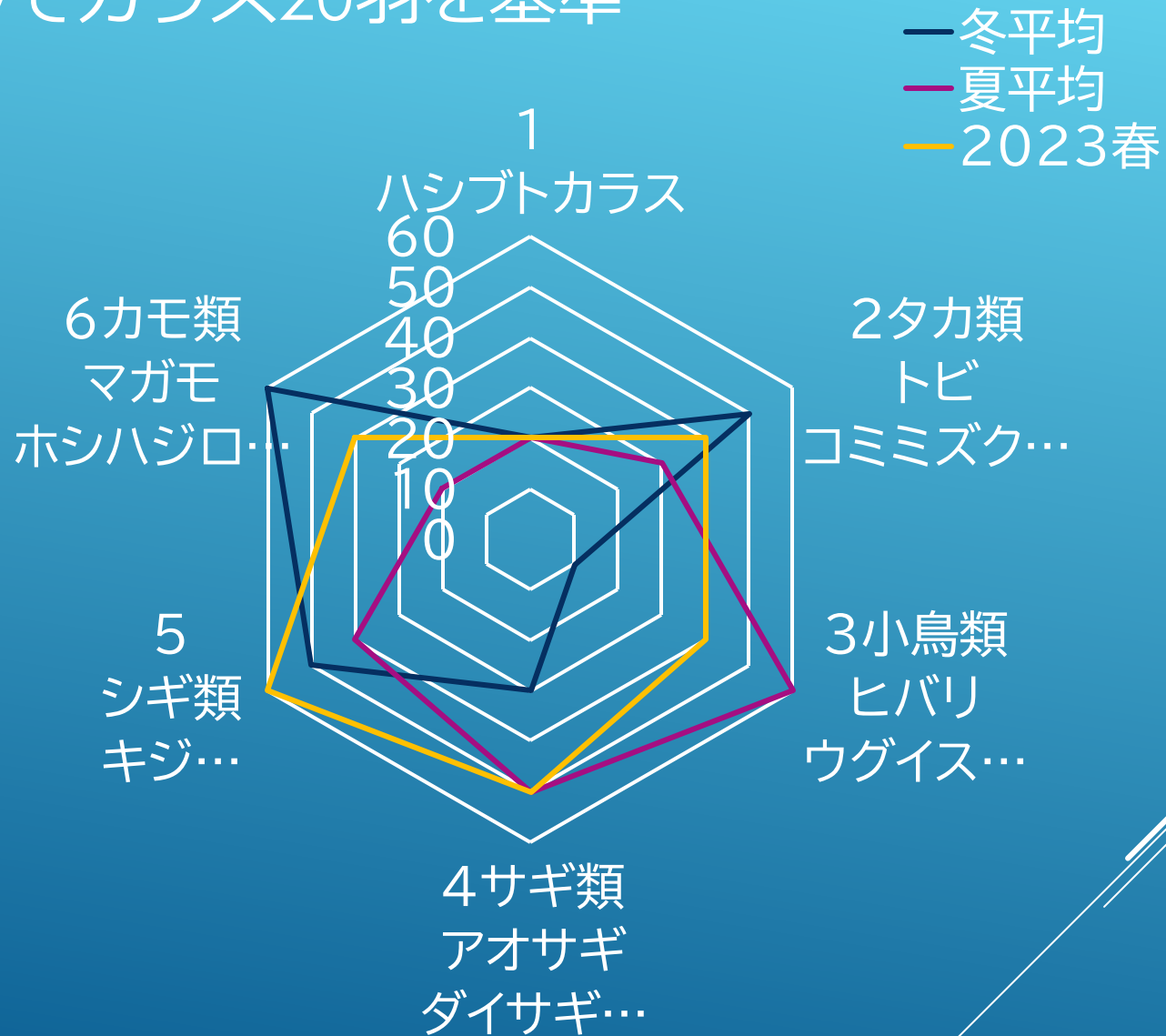
3 研究の経過



そこで、夏は何かいないのかと探すことにした。昨年度は、夏にアマサギの群れに出会った。今年度は、似ているけれど違う個体、何を食べているのかを追究しました。

4 研究の結果 野鳥のレーダーチャート

一回りしてカラス20羽を基準



5 冬鳥の到来



たくさんのカモ類
マガモ、ホシハジロ

チュウヒやハイイロチュウヒが来ている。

6 春から夏の野鳥



ヒバリは、登校すると校庭でピチクリピチクリとさえずっている。



ウグイスは、授業中、林の方からホーホケキョケキョと聞こえてくる。

7 コウノトリに出会った 2022.4月23日のこと



左の足輪	右の足輪	JO387	2021年5月7日生
赤	青	メス、名前：リン	2歳
赤	黒	2021年8月11日野田市で放鳥	

8 似ているけれど種の違い 1



コウノトリ (コウノトリ目)

アオサギ(ペリカン目)

飛ぶときの首はまっすぐ

曲げている

嘴は黒

黄色

目の周りが赤い

赤くはない

尾羽は白

灰色

9 似ているけれど種の違い2

夏鳥サシバ



留鳥ミサゴは霞ヶ浦にダイブ



10 サシバとミサゴ 何が違うのか

サシバ



ミサゴ



サシバ	ミサゴ
夏鳥 タカ目	留鳥 タカ目
モグラ、カエル	餌は魚
電柱	食事は棒杭等
田畑で狩りをする	霞ヶ浦に飛び込む

11 スズメは減ったのか



スズメは、子育てのとき栄養価が高い昆虫を捕らえる。餌を4000回も運ぶという。冬は群れてたくさんいる。

12 シギ類の旋回飛行



シギは群れて、霞ヶ浦湖畔の蓮田にやってくる。100羽近い群れが急旋回をする。端になるシギが不安になって中に入ろうとするので集団で旋回する。

13 仲のいいキジ



学校の帰りに、キジに出会う。授業中「ケーン」と鳴き声が聞こえてくる。鳴き声で、あの林にキジがいるんだとわかる。

14 豊かな霞ヶ浦



冬鳥のハイイロチュウヒはシベリアから到来、この霞ヶ浦で3月までカモやネズミを捕らえてヨシ原で寝ている。

コミミズクパート2



写真は、すべて2022～23年 美浦村から稲敷市にかけての霞ヶ浦湖畔で撮ったものである。